

第7次地域保健医療計画の変更に基づく病院整備計画

令和7年10月31日

病院整備計画の中止について（報告）

1 医療機関名等

医療機関名	医療法人光仁会 春日部厚生病院
所在地又は予定地	春日部市緑町6－11－48
整備病床数（医療機能）	53床（地域包括ケア）、6床（回復期リハビリテーション）

2 中止する理由

このたびは第7次医療計画の変更に基づく病院整備計画の公募において、地域包括ケア病床53床、回復期リハビリテーション病床6床の病床配分をいただきましたが、誠に遺憾ではございますが辞退させていただきたく、ここにご報告申し上げます。このような結果となりましたこと、深くお詫び申し上げます。

病床整備計画を中止する理由といたしましては、まず第一に、計画策定当初と比較して物価高騰および人件費の上昇が著しく進展した結果、病院新築に係る建設費が当初想定を大きく上回る水準となったことが挙げられます。この予想外の建設コスト増加により、事業計画の見直しが避けられない状況となりました。

第二に、現有病院敷地の隣接地につきまして、地権者様との取得交渉を鋭意進めてまいりましたが、取引条件面において双方が合意できる見通しが立たなくなりました。病床整備に必要な用地確保が困難となったことも、計画継続を断念する大きな要因となっております。

加えて、近年の医療・社会情勢の変化も計画中止を判断する大きな要因となっております。新型コロナウイルス感染症の影響以降、全国的に入院患者数の減少傾向が続いており、当院でも同様の傾向が見られます。入院受療率の低下、健康寿命の延伸、地域内の介護施設や高齢者住宅の整備、在宅医療の進展などにより、当初県が示していた「病床不足」状況は一定の改善が見られる状況となっております。

さらに、国の医療制度全体が「入院から在宅へ」「治す医療から支える医療へ」と大きく転換しており、主要な収益源である診療報酬も、物価や賃金上昇に十分対応し得る水準には至っておりません。全国的にも病院経営は厳しく、多くの医療機関が経営的に難しい局面を迎えております。当院としても病床稼働率の向上など、可能な限りの経営努力を続けてまいりましたが、建設資材の高騰や医療・介護人材の慢性的な不足といった構造的課題が解消さ

れておらず、現時点で新築建替えを伴う病床整備を進めることは極めて慎重な判断を要する状況にあります。

このような外部環境の大きな変化も踏まえ、地域医療の持続性を確保し、既存の医療サービスを安定的に提供し続けることを最優先に考えた結果、現時点での病院整備計画の中止が最も適切な判断であると結論づけました。

誠に残念ながら今回は計画中止という結果となりましたが、地域医療に対する当院の責務と使命は変わることなく、今後も地域における医療提供体制の維持・充実に努めてまいります。今後、病床公募等の機会がございました際には、新たな移転候補地の検討も含めて改めて計画を再検討し、地域医療の発展に資するよう取り組んでまいります所存でございます。

関係各位におかれましては、これまでのご支援に深く感謝申し上げますとともに、今回の決定につきまして何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。